

### 3 愛媛県のイメージ

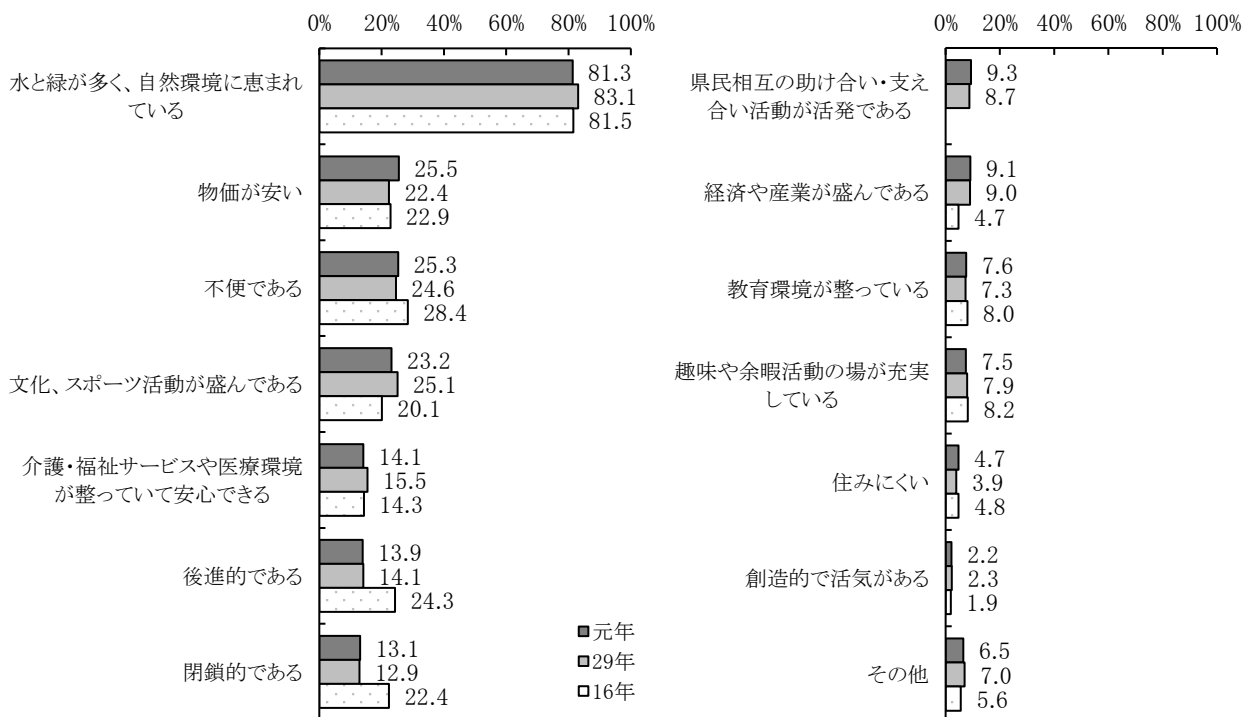
#### 問 26 現在の愛媛県のイメージ

あなたは、今、愛媛県をどんなところと思っていますか。あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 水と緑が多く、自然環境に恵まれている	81.3	81.3
2 物価が安い	25.5	25.5
3 経済や産業が盛んである	9.1	9.1
4 教育環境が整っている	7.6	7.6
5 介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる	14.1	14.1
6 趣味や余暇活動の場が充実している	7.5	7.5
7 文化、スポーツ活動が盛んである	23.2	23.2
8 創造的で活気がある	2.2	2.2
9 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である	9.3	9.3
10 後進的である	13.9	13.9
11 住みにくい	4.7	4.7
12 閉鎖的である	13.1	13.1
13 不便である	25.3	25.3
14 その他	6.5	6.5

愛媛県はどんなところかイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が81.3%で特に多く、以下「物価が安い」(25.5%)、「不便である」(25.3%)、「文化、スポーツ活動が盛んである」(23.2%)、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」(14.1%)などの順となっている。

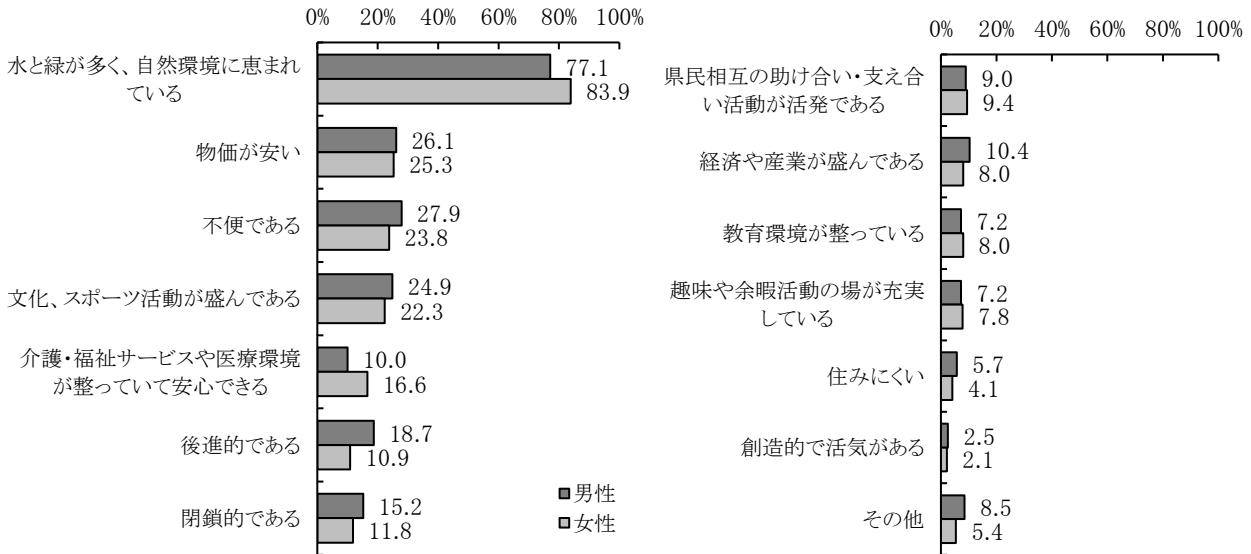
また、前回調査と比較して答えた人の割合が増加しているのは、「物価が安い」、「不便である」などとなっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に多くなっている。(男性 77.1%、女性 83.9%)

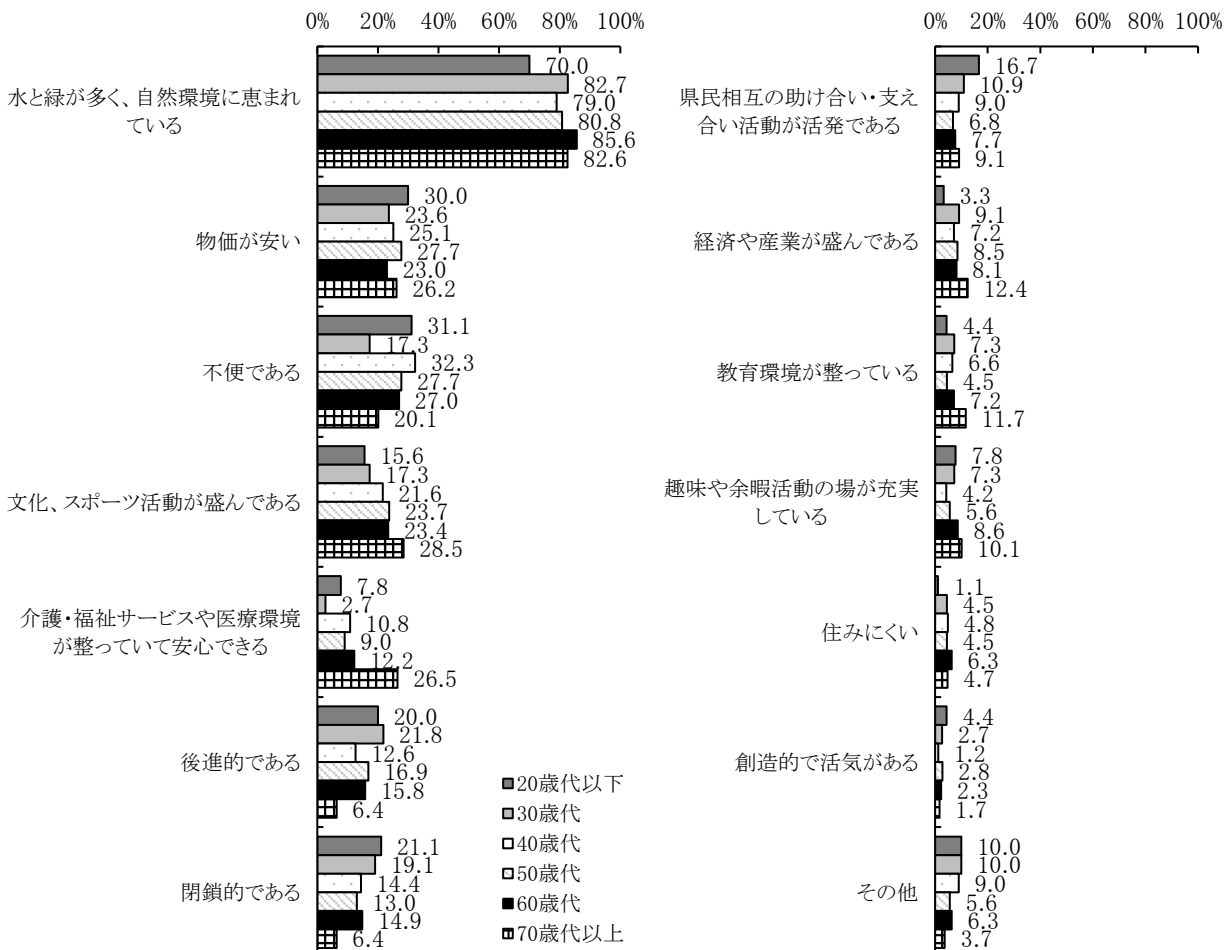
また、男性の方が多いのは、「物価が安い」、「不便である」、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「後進的である」、「閉鎖的である」など、女性の方が多いのは、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」及び「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」などとなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、全ての年齢層で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が多くなっている。

また、「不便である」は、30歳代と70歳代以上で少なく、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」は、70歳代以上で他の年齢層と比較して多くなっている。

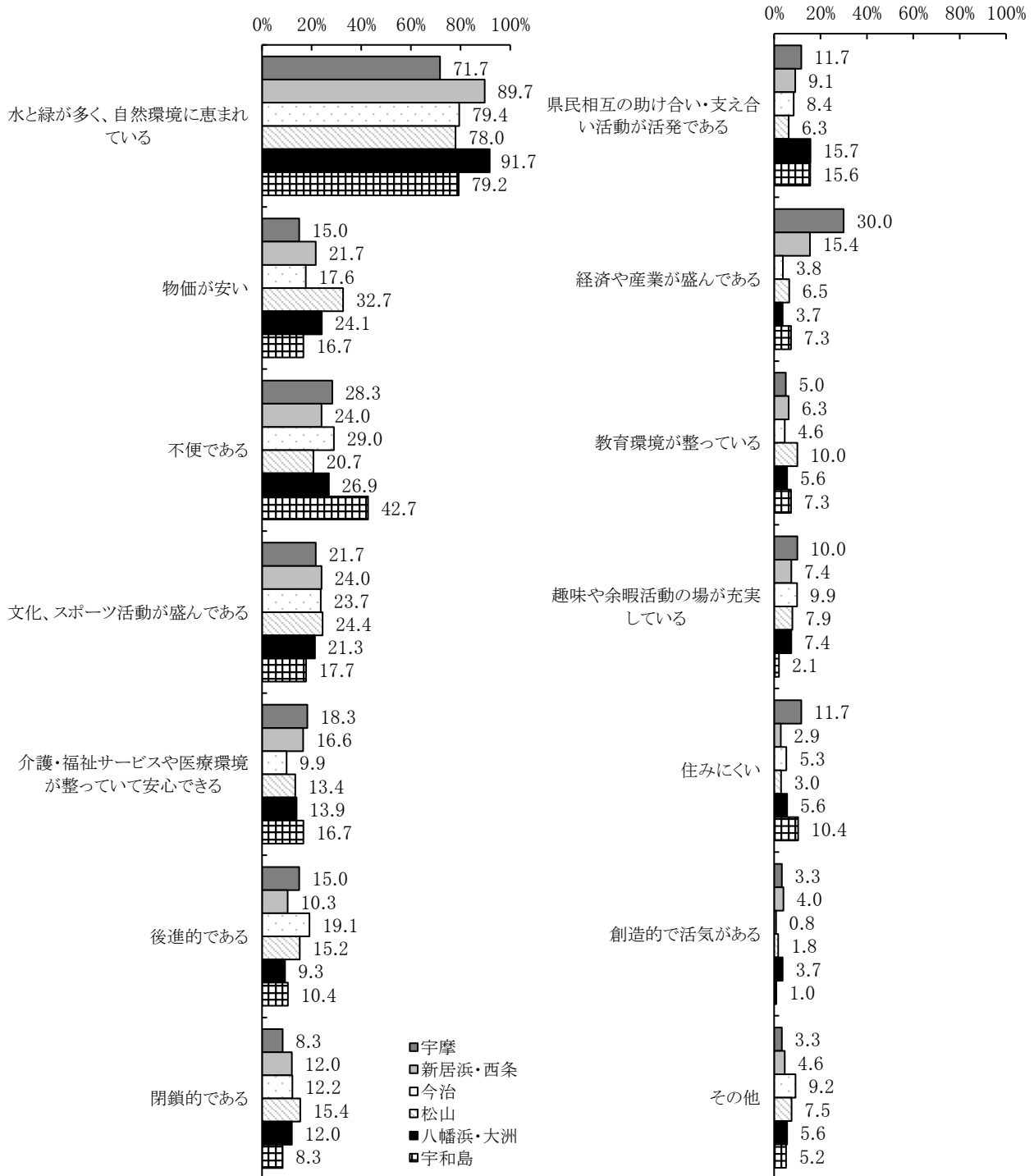


【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が多くなっている。

また、「物価が安い」と答えた人の割合は、松山圏域で他の圏域と比較して多く、「不便である」は、宇和島圏域で多くなっている。「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」は、今治圏域で少なくなっている。「経済や産業が盛んである」は、宇摩圏域で多くなっている。

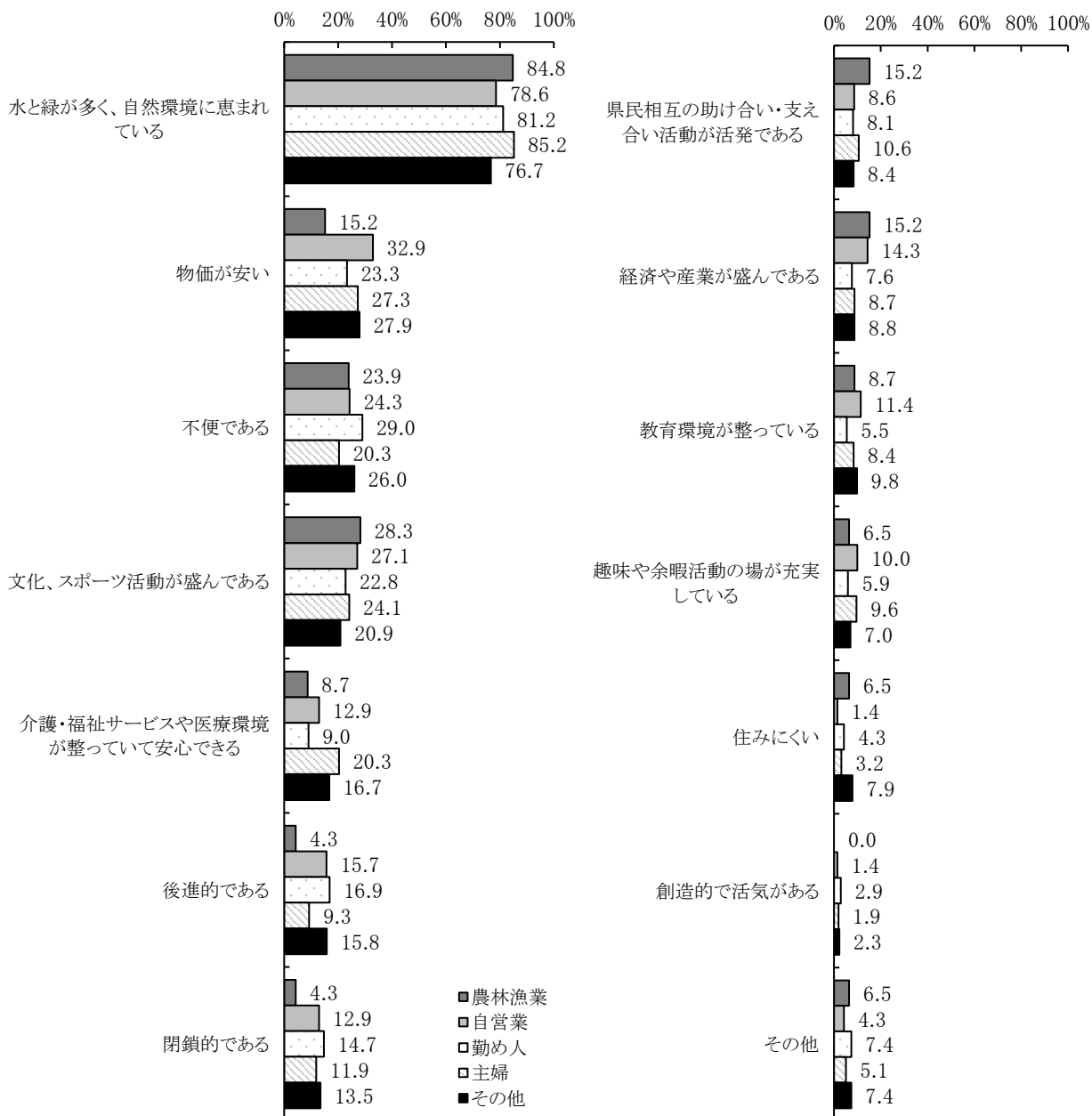
この他、前回調査と比較すると、八幡浜・大洲圏域では、「物価が安い」と答えた人の割合が、13.6ポイント増加し、宇摩圏域では、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が、8.6ポイント増加している。



【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が特に多くなっている。

また、農林漁業では、「物価が安い」、「後進的である」、「閉鎖的である」と答えた人の割合が、他の職種と比較して少なくなっている。主婦では「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」と答えた人の割合が、他の職種と比較して多くなっている。



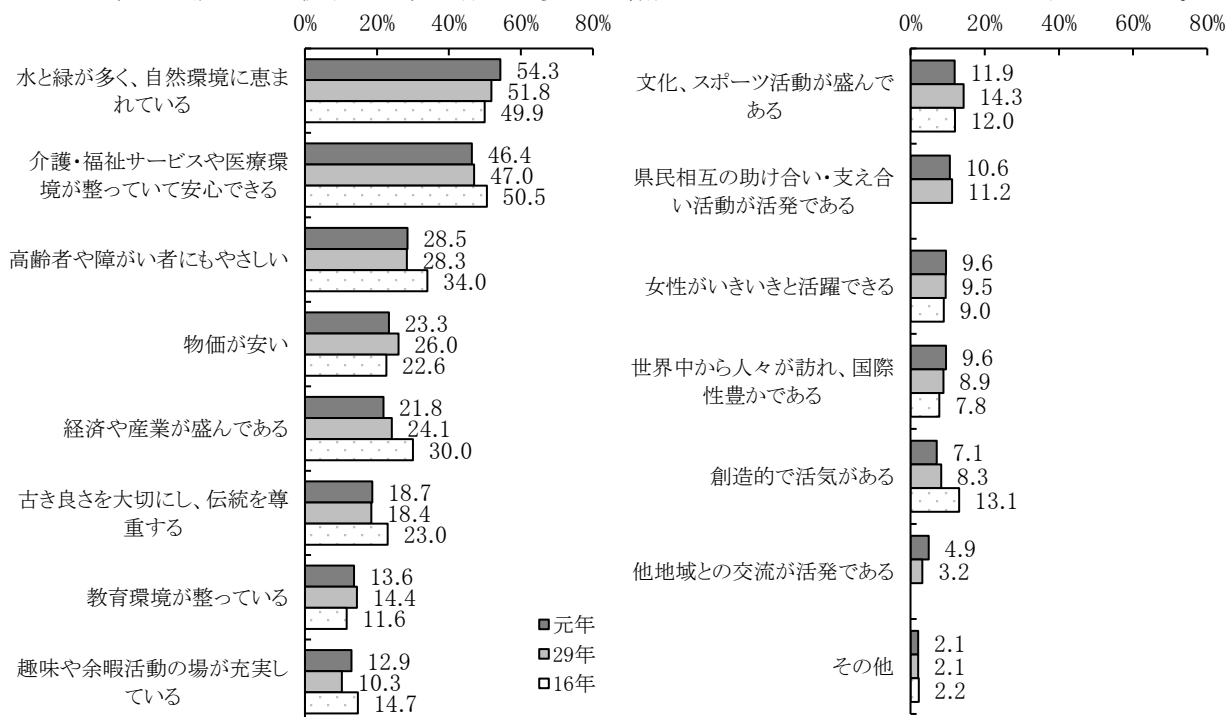
## 問 27 将来なっしてほしい愛媛県のイメージ

また、今後、愛媛県のあるべき姿について、あなたのイメージに近いものを次の中から三つまで選んで番号を○で囲んでください。

	(複数回答)	(%)
1 水と緑が多く、自然環境に恵まれている	54.3	54.3
2 物価が安い	23.3	23.3
3 経済や産業が盛んである	21.8	21.8
4 教育環境が整っている	13.6	13.6
5 介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる	46.4	46.4
6 趣味や余暇活動の場が充実している	12.9	12.9
7 文化、スポーツ活動が盛んである	11.9	11.9
8 創造的で活気がある	7.1	7.1
9 県民相互の助け合い・支え合い活動が活発である	10.6	10.6
10 古き良さを大切にし、伝統を尊重する	18.7	18.7
11 他地域との交流が活発である	4.9	4.9
12 世界中から人々が訪れ、国際性豊かである	9.6	9.6
13 高齢者や障がい者にもやさしい	28.5	28.5
14 女性がいきいきと活躍できる	9.6	9.6
15 その他	2.1	2.1

愛媛県の今後あるべき姿のイメージを聞いたところ、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が54.3%、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が46.4%で特に多く、以下「高齢者や障がい者にもやさしい」(28.5%)、「物価が安い」(23.3%)、「経済や産業が盛んである」(21.8%)、「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」(18.7%)などの順となっている。

また、前回調査と比較すると、全体的に多少の増減はあるもののおおむね前回と同様であった。

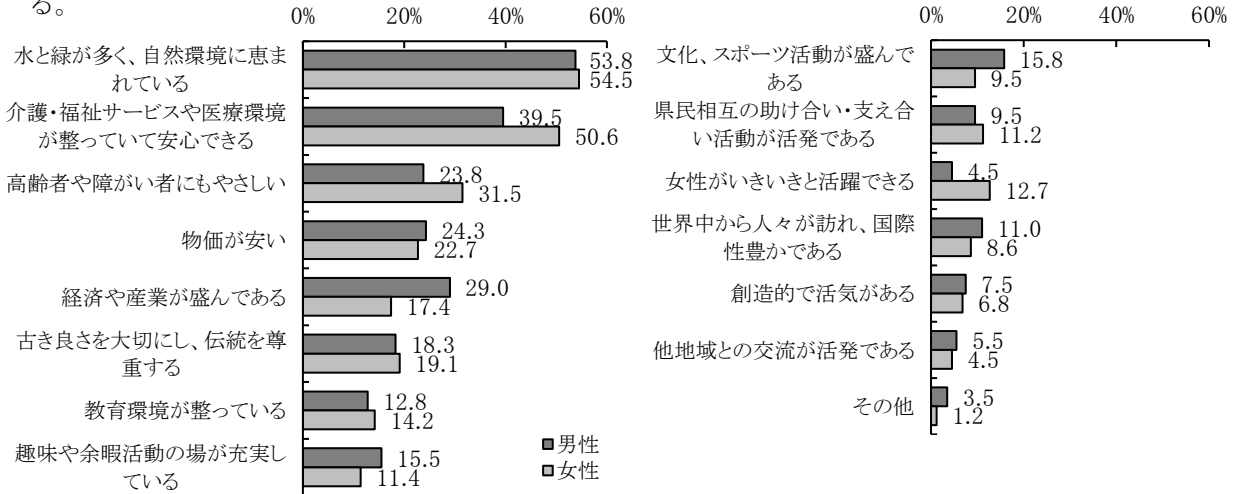


【性別】

性別にみると、男女共に「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多い。

また、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」、「高齢者や障がい者にもやさしい」、「女性がいきいきと活躍できる」などは女性の方が多く、「経済や産業が盛んである」、「文化、スポーツ活動が盛んである」、「趣味や余暇活動の場が充実している」などは男性の方が多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、女性では「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が3.0ポイント減少し、男性では「趣味や余暇活動の場が充実している」が3.9ポイント増加している。

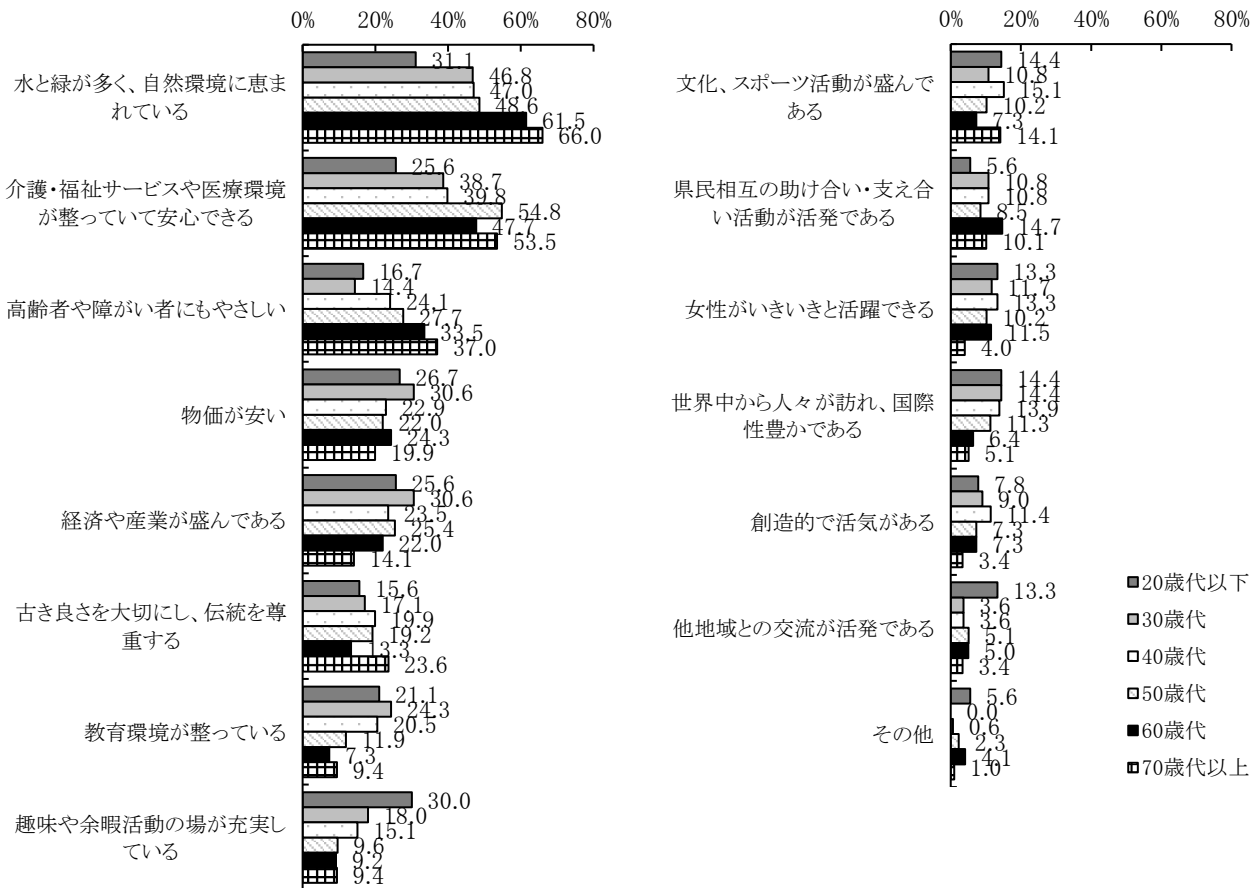


【年齢別】

年齢別にみると、50歳代を除く全ての年齢層で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多く、50歳代では「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が最も多くなっている。

また、「趣味や余暇活動の場が充実している」と答えた人の割合は20歳代以下で、他の年齢層と比較して多くなっている。

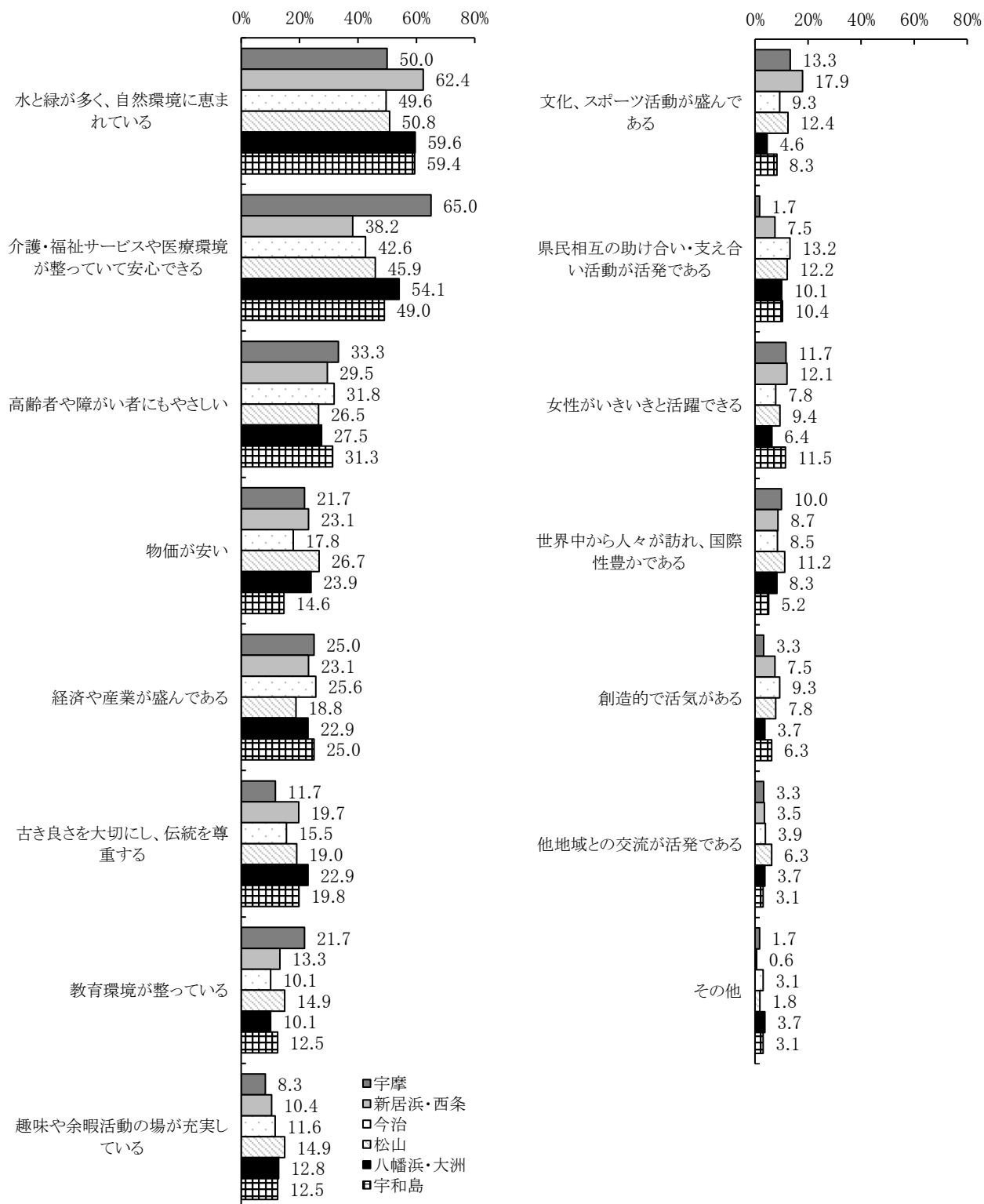
この他、前回調査と比較すると、20歳代以下で「古き良さを大切にし、伝統を尊重する」と答えた人の割合が14.3%と大きく減少している。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域を除く全ての圏域で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっており、宇摩圏域では「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」が最も多くなっている。

また、「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」と「教育環境が整っている」は宇摩圏域で、他の圏域と比較して多くなっている。

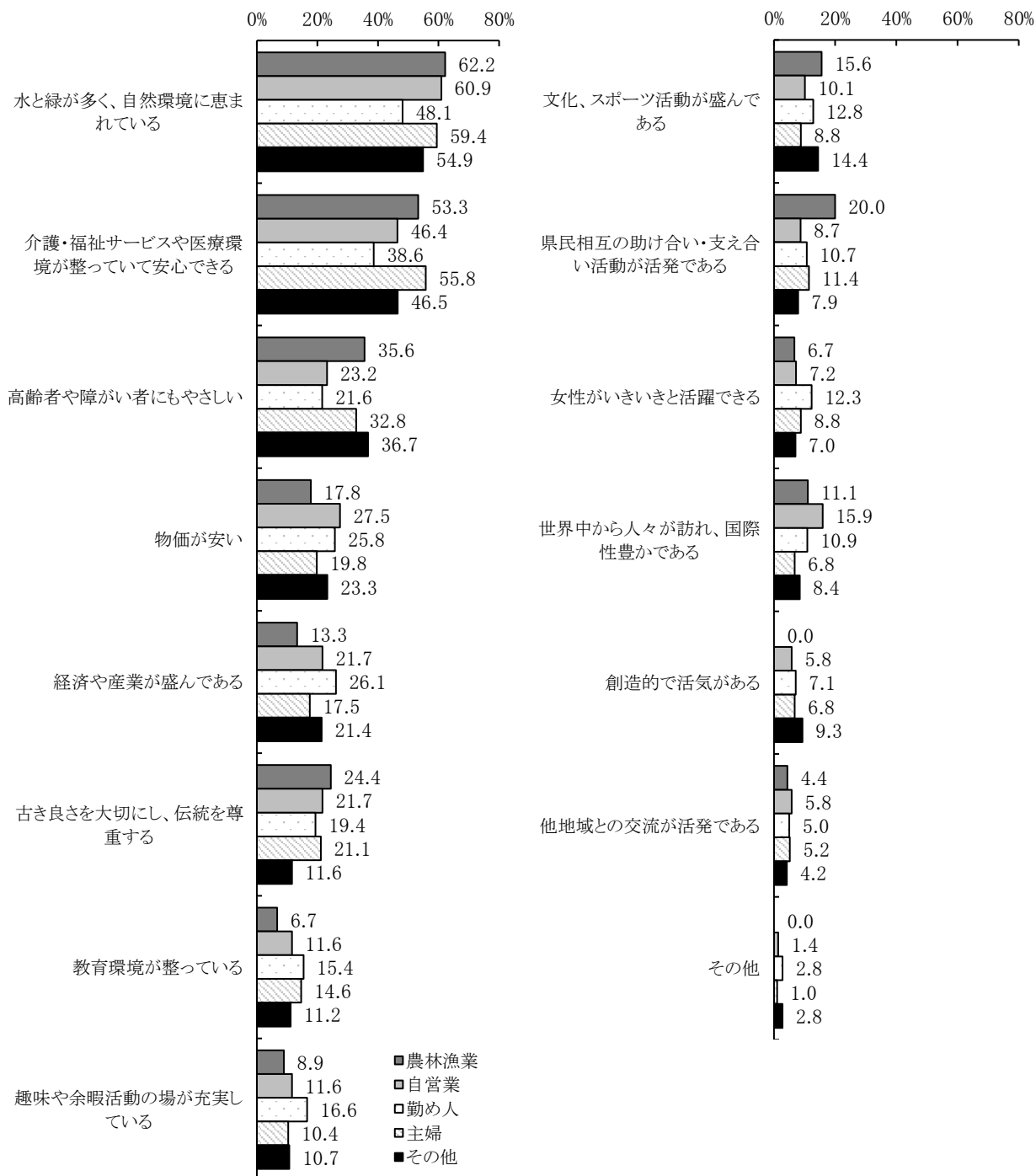


【職業別】

職業別にみると、全ての職種で「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「水と緑が多く、自然環境に恵まれている」と「介護・福祉サービスや医療環境が整っていて安心できる」は勤め人で、「高齢者や障がい者にもやさしい」は自営業と勤め人で、他の職種と比較して少なくなっている。

この他、前回調査と比較すると、「高齢者や障がい者にもやさしい」と答えた人の割合は、農林漁業で13.1ポイント増加している。





#### 4 県政への要望

##### 問 28 県政への要望

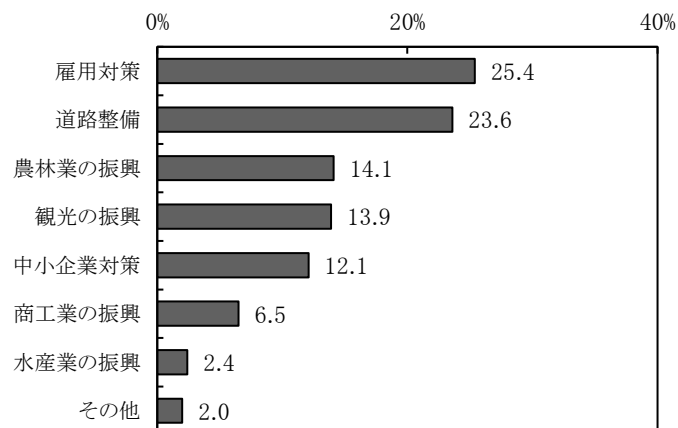
今後県政を進めていくうえで、あなたが特に力を入れてほしい施策は何ですか。次の(A)、(B)、(C)の中から一つずつ選んで番号を○で囲んでください。

	(%)
(A) 産 業	
1 農林業の振興	14.1
2 水産業の振興	2.4
3 商工業の振興	6.5
4 中小企業対策	12.1
5 観光の振興	13.9
6 雇用対策	25.4
7 道路整備	23.6
8 その他	2.0
(B) 生活環境	
1 介護・福祉サービスの充実	34.1
2 子育て支援対策	13.0
3 医療、保健衛生機能の拡充	17.8
4 ボランティア活動の活性化	1.5
5 物価・消費者保護対策	12.1
6 公害防止対策、自然環境の保全	4.0
7 上・下水道、ゴミ処理施設の整備	4.3
8 交通安全対策	4.4
9 犯罪防止対策	3.7
10 消防、防災対策	3.6
11 その他	1.5
(C) 教 育	
1 学校教育の充実	34.2
2 家庭教育の充実	8.9
3 社会教育の充実	19.5
4 青少年の健全育成	15.1
5 芸術、文化の振興	13.6
6 スポーツ、レクリエーション活動の助長	6.9
7 その他	1.7

今後、県政に望む施策について、(A)産業、(B)生活環境、(C)教育の3点に分けて質問した結果は、次のとおりである。

### 《産業面》

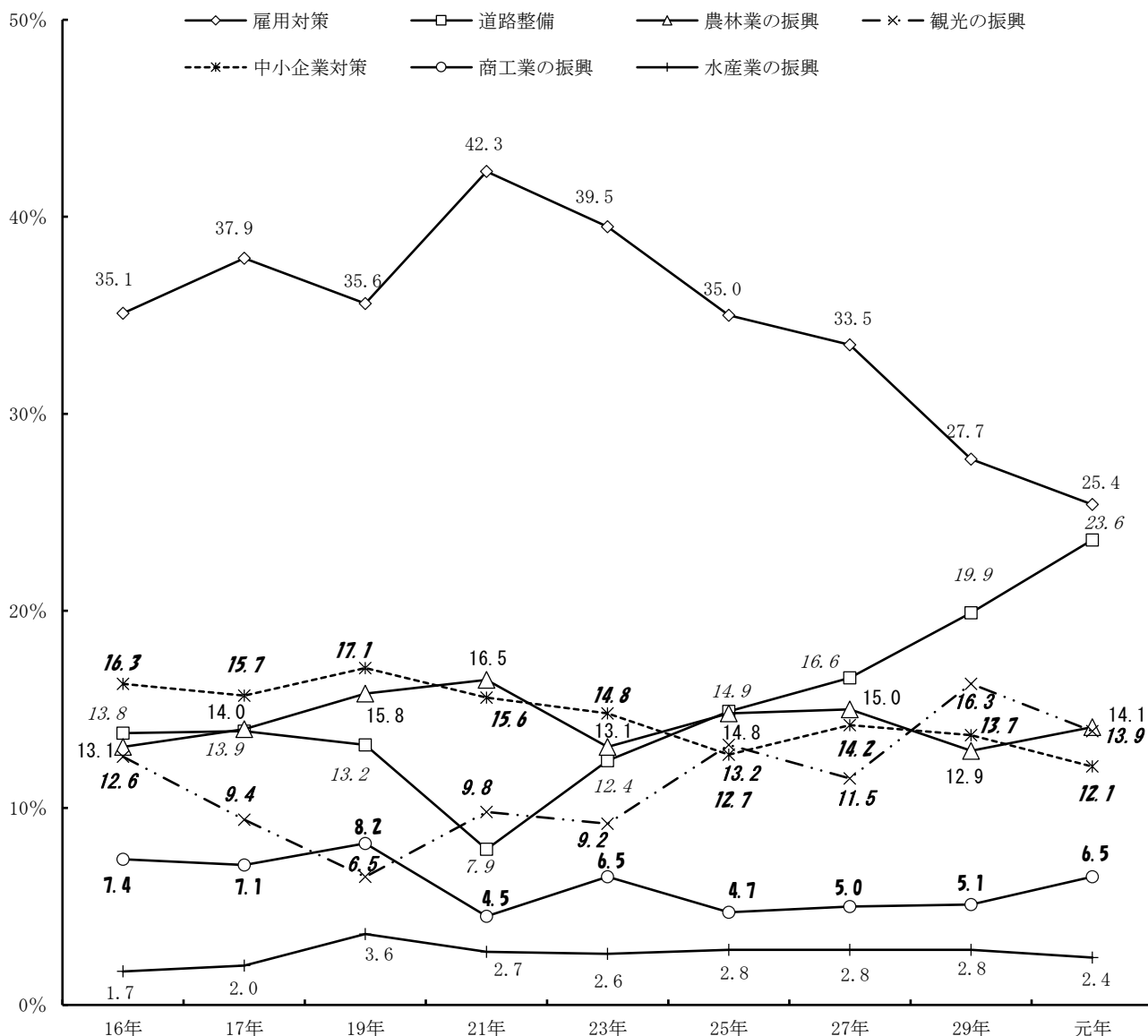
産業面で特に力を入れてほしいこととしては、「雇用対策」と答えた人の割合が、25.4%と特に多く、以下「道路整備」(23.6%)、「農林業の振興」(14.1%)、「観光の振興」(13.9%)などの順となっている。



### 【経年変化】

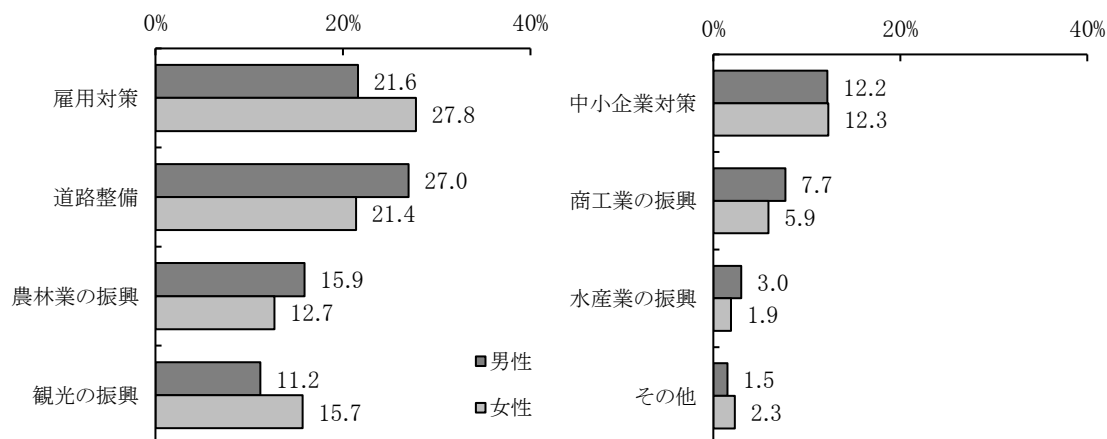
経年変化をみると、「雇用対策」と答えた人の割合は、平成21年調査以降減少傾向で、前回調査と比較して2.3ポイント減少している。

また、「道路整備」と答えた人の割合は、平成21年調査以降増加傾向で、前回調査と比較して3.7ポイント増加しているほか、「観光の振興」は、2.4ポイント減少している。



【性別】

性別にみると、男性では「道路整備」と答えた人の割合が最も多く、男性（27.0%）の方が女性（21.4%）より5.6ポイント多くなっている。また、女性では「雇用対策」と答えた人の割合が最も多く、女性（27.8%）の方が男性（21.6%）より6.2ポイント多くなっている。

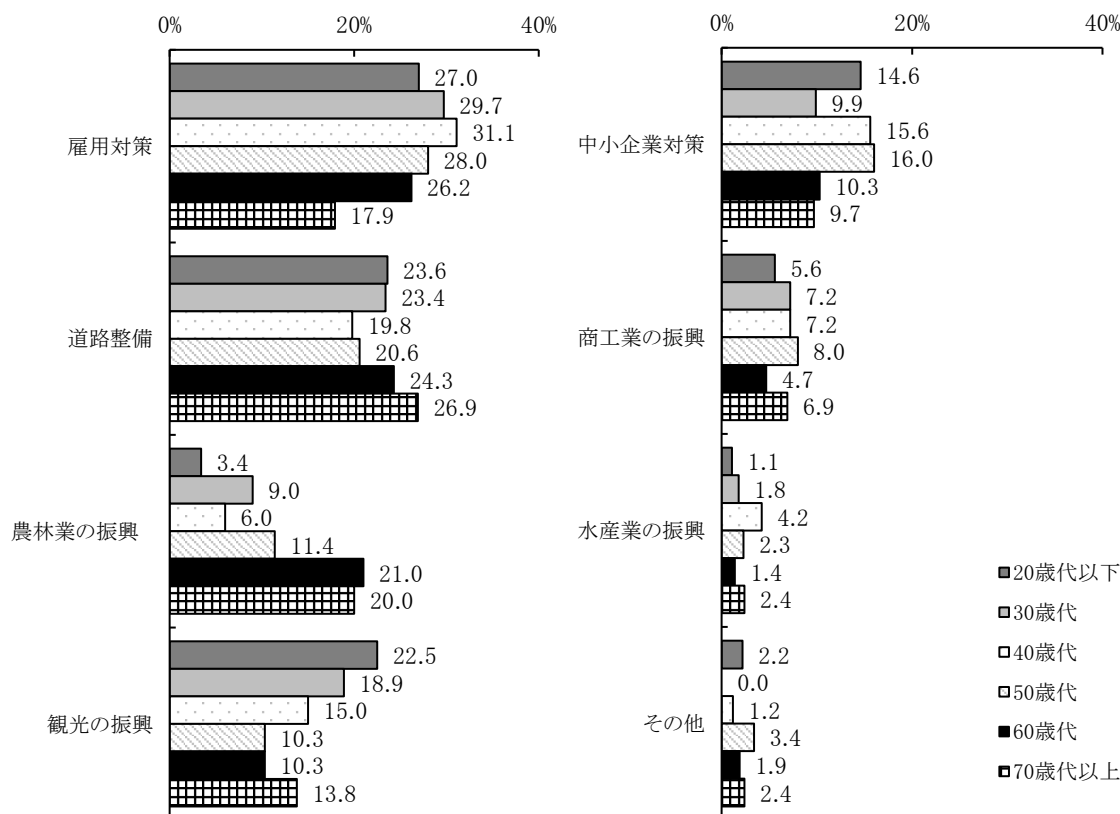


【年齢別】

年齢別にみると、60歳代以下の年齢層で「雇用対策」と答えた人の割合が最も多くなっており、70歳代以上では「道路整備」（26.9%）が最も多くなっている。

また、「農林業の振興」はおおむね年齢層が高いほど多く、「観光の振興」は年齢層が低いほど多くなっている。

その他、前回調査と比較すると、30歳代では「道路整備」と答えた人の割合が11.6ポイント増加しているが、「中小企業対策」は8.9ポイント減少している。

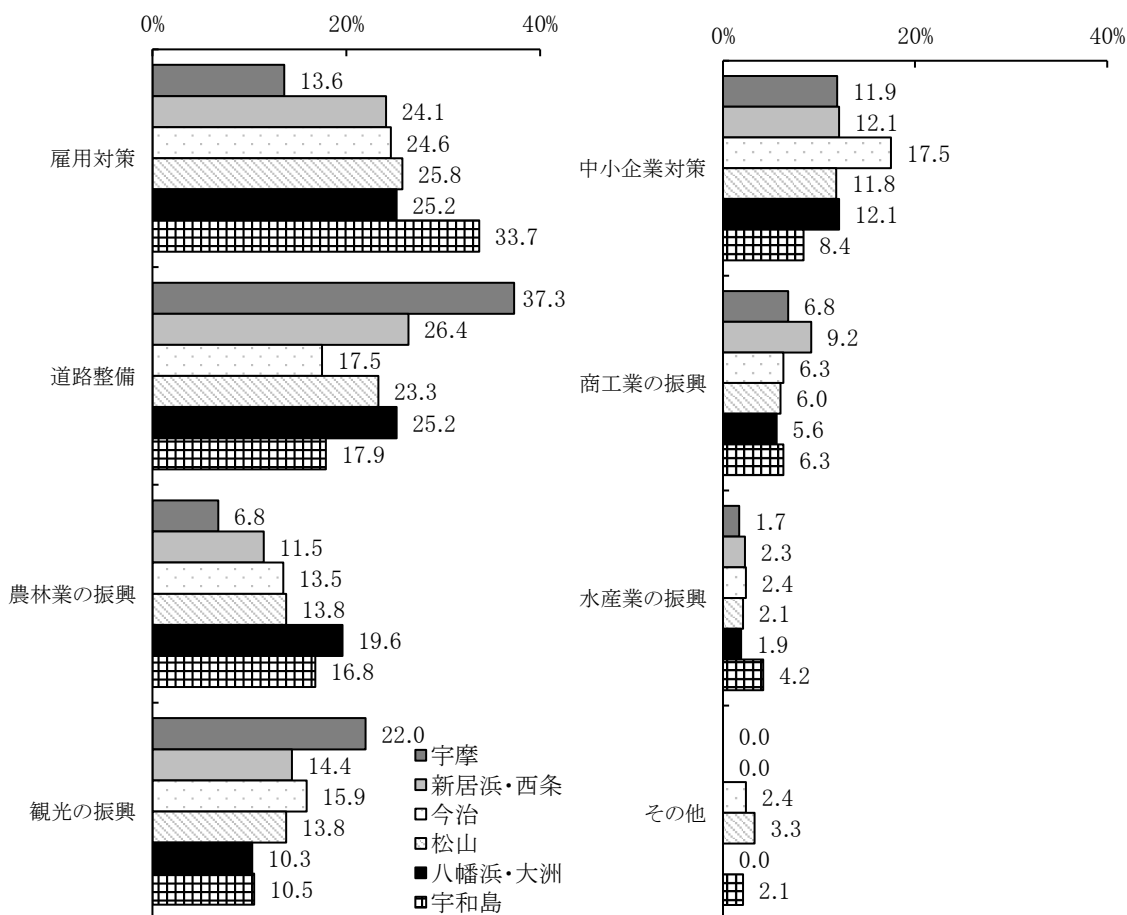


### 【生活圏域別】

生活圏域別にみると、宇摩圏域と新居浜・西条圏域を除く全ての圏域で「雇用対策」と答えた人の割合が最も多くなっており、宇摩圏域と新居浜・西条圏域では「道路整備」が最も多く、八幡浜・大洲圏域では同率で「雇用対策」、「道路整備」が多くなっている。

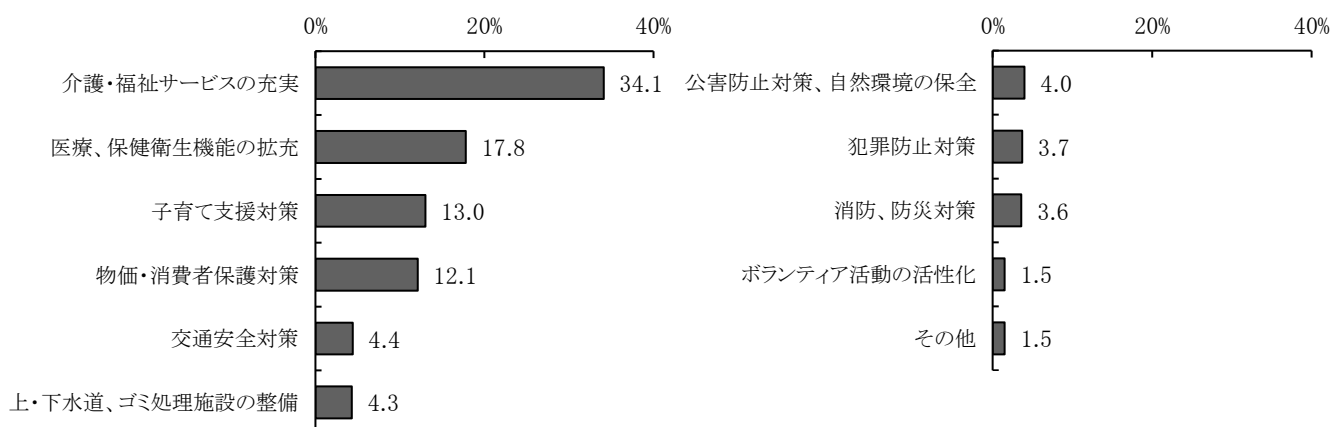
また、「中小企業対策」は今治圏域で、「農林業の振興」と答えた人の割合は八幡浜・大洲圏域で、「水産業の振興」は宇和島圏域で、他の圏域と比較して多くなっている。

この他、前回調査と比較すると、宇和島圏域を除く全ての圏域で「雇用対策」が減少し、「道路整備」が増加している。



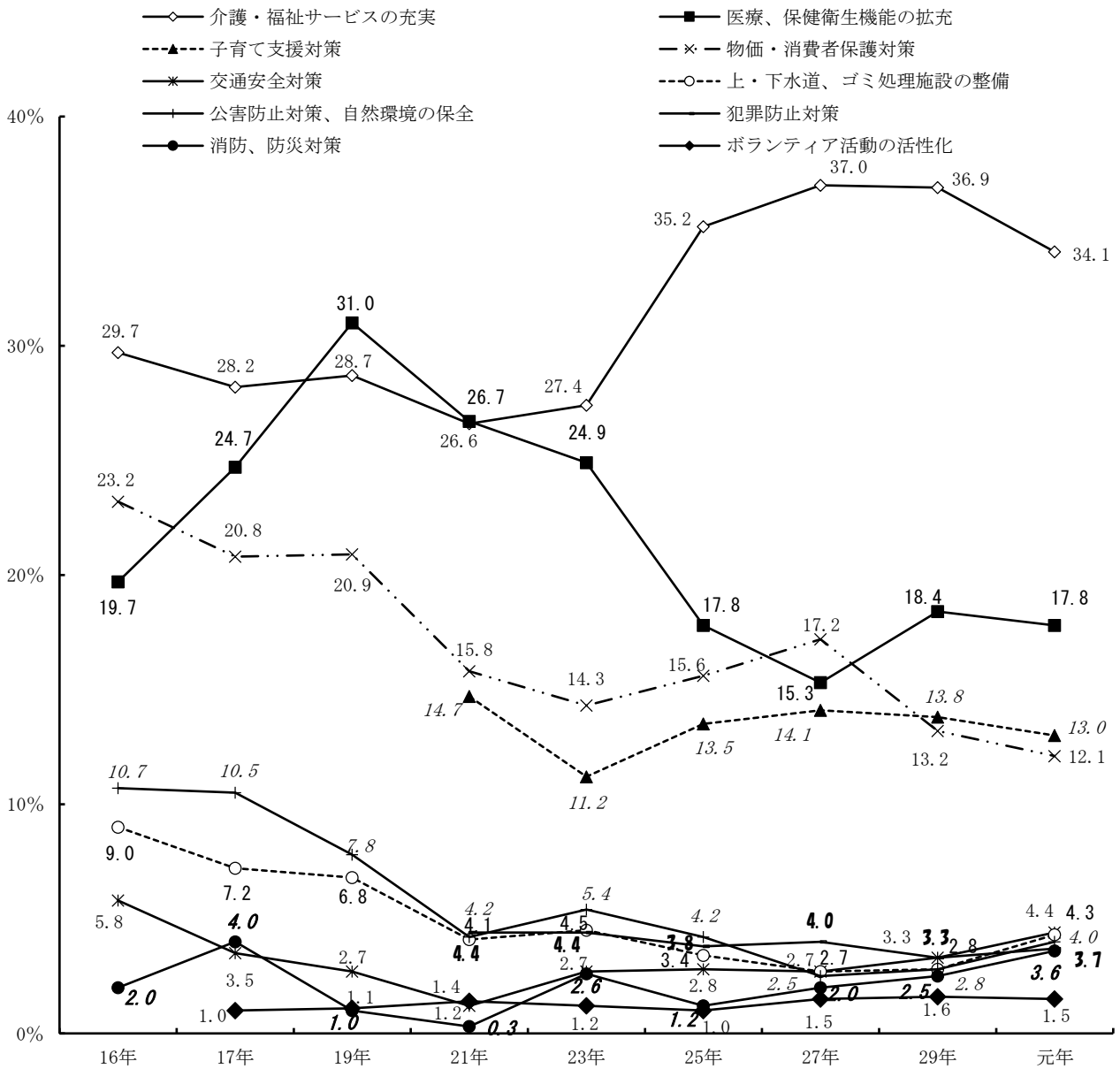
### 《生活環境面》

生活環境面で特に力を入れてほしいこととしては、「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が、34.1%で最も多くなっており、以下「医療、保健衛生機能の拡充」(17.8%)、「子育て支援対策」(13.0%)、「物価・消費者保護対策」(12.1%)、「交通安全対策」(4.4%)などの順となっている。



【経年変化】

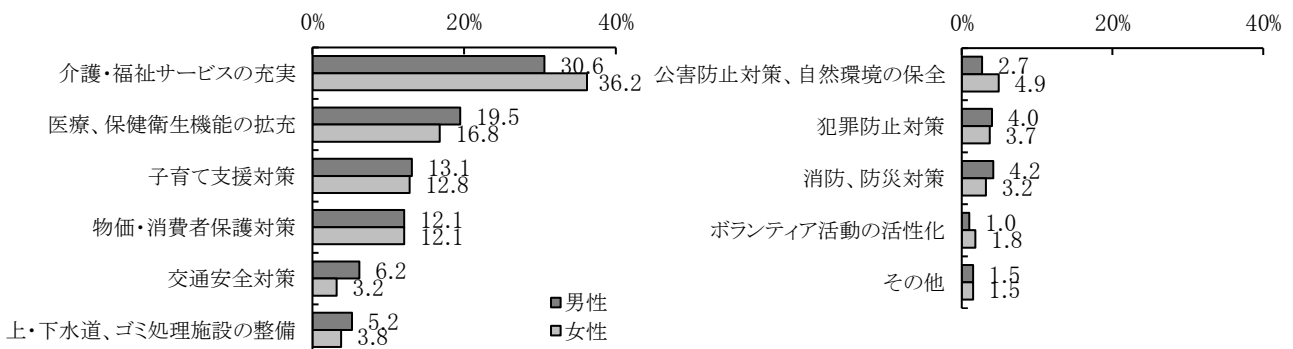
経年変化をみると、「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が、前回調査より2.8ポイント、「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合が、前回調査より0.6ポイント減少している。  
 また、「物価、消費者保護対策」は、前回調査より1.1ポイント減少し、平成16年調査以降最も低くなっている。



【性別】

性別にみると、男女共に「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が最も多く、特に女性（36.2%）の方が男性（30.6%）より5.6ポイント多くなっている。

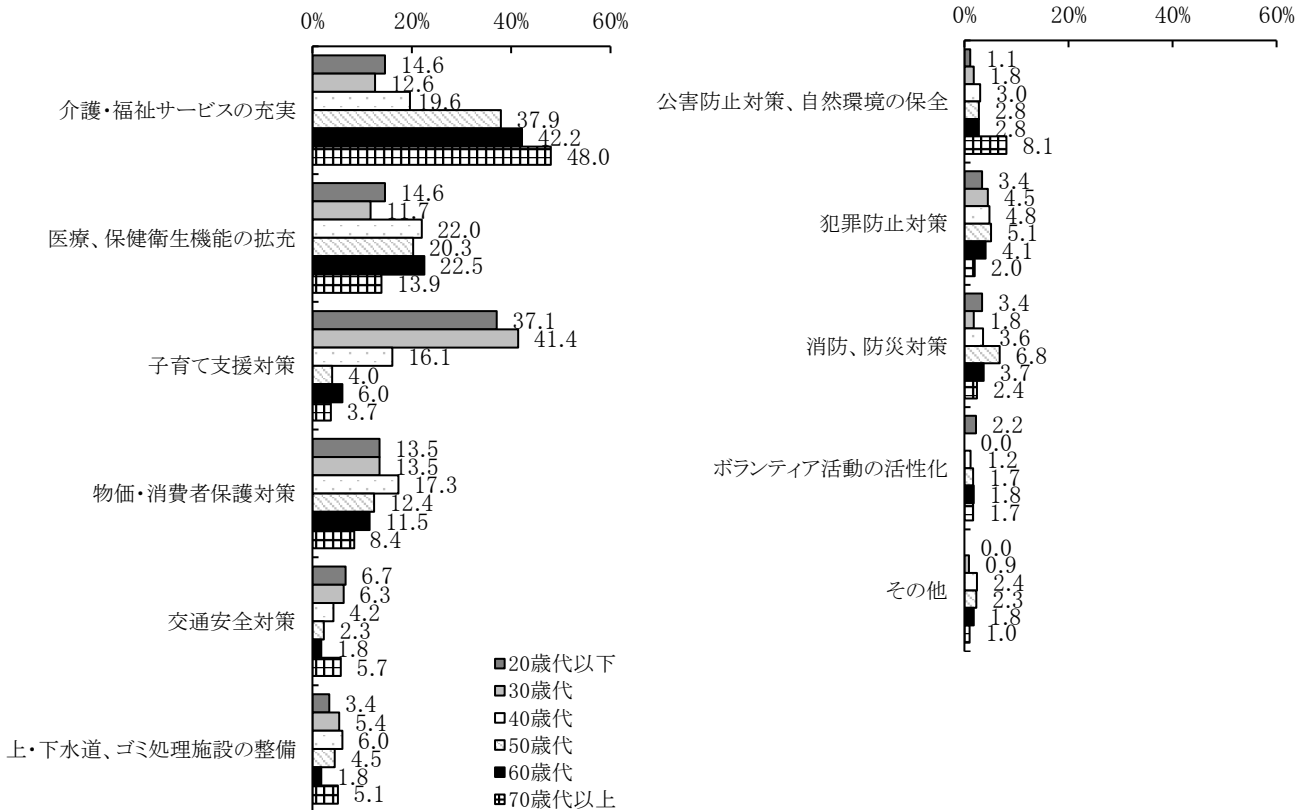
また、「医療、保健衛生機能の拡充」、「交通安全対策」、「上・下水道、ゴミ処理施設の整備」などは男性の方が多くなっている。



**【年齢別】**

年齢別にみると、50歳代以上では「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が最も多く、40歳代では「医療、保健衛生機能の拡充」、30歳代以下では「子育て支援対策」が最も多くなっており、中でも30歳代（41.4%）で特に多くなっている。

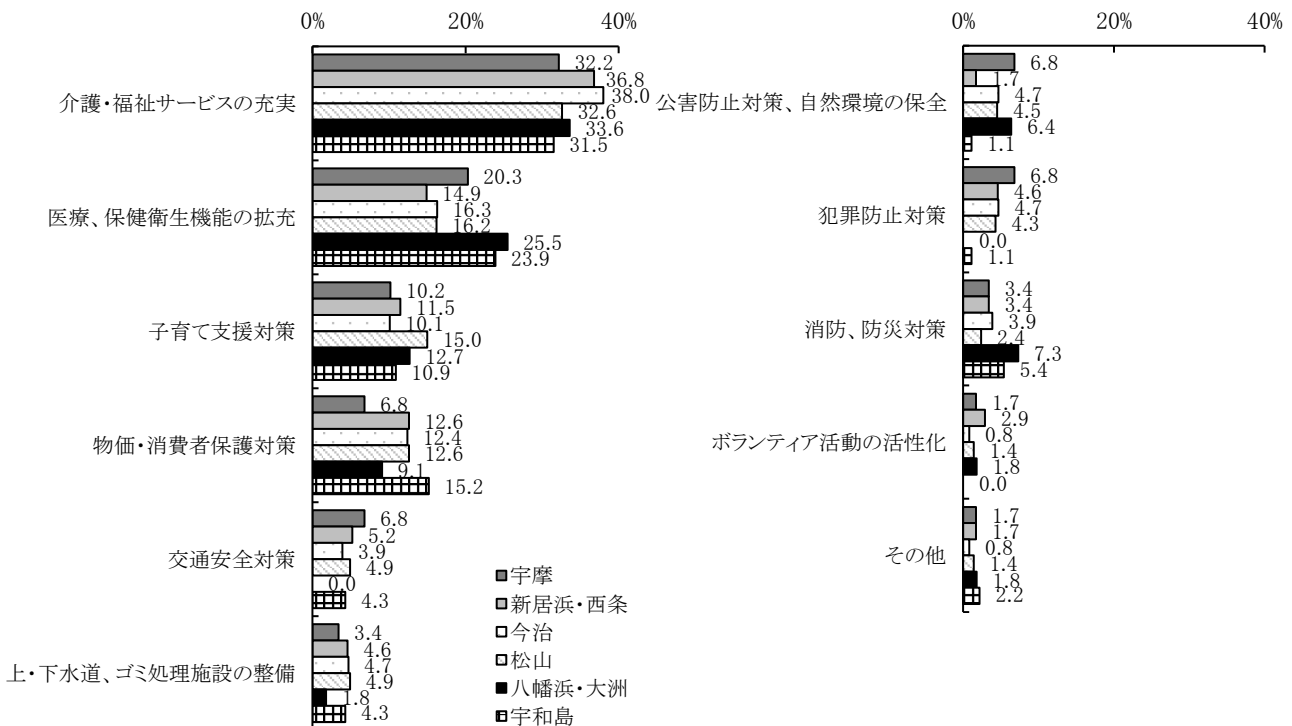
また、「物価、消費者保護対策」と答えた人の割合は、40歳代で他の年齢層と比較して多く、「公害防止対策、自然環境の保全」は70歳代以上で多くなっている。



**【生活圏域別】**

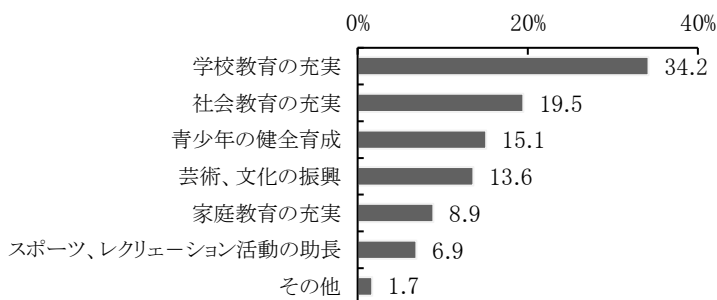
生活圏域別にみると、全ての圏域で「介護・福祉サービスの充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。

また、「医療、保健衛生機能の拡充」と答えた人の割合は、宇摩圏域、八幡浜・大洲圏域及び宇和島圏域で他の圏域と比較して多くなっている。



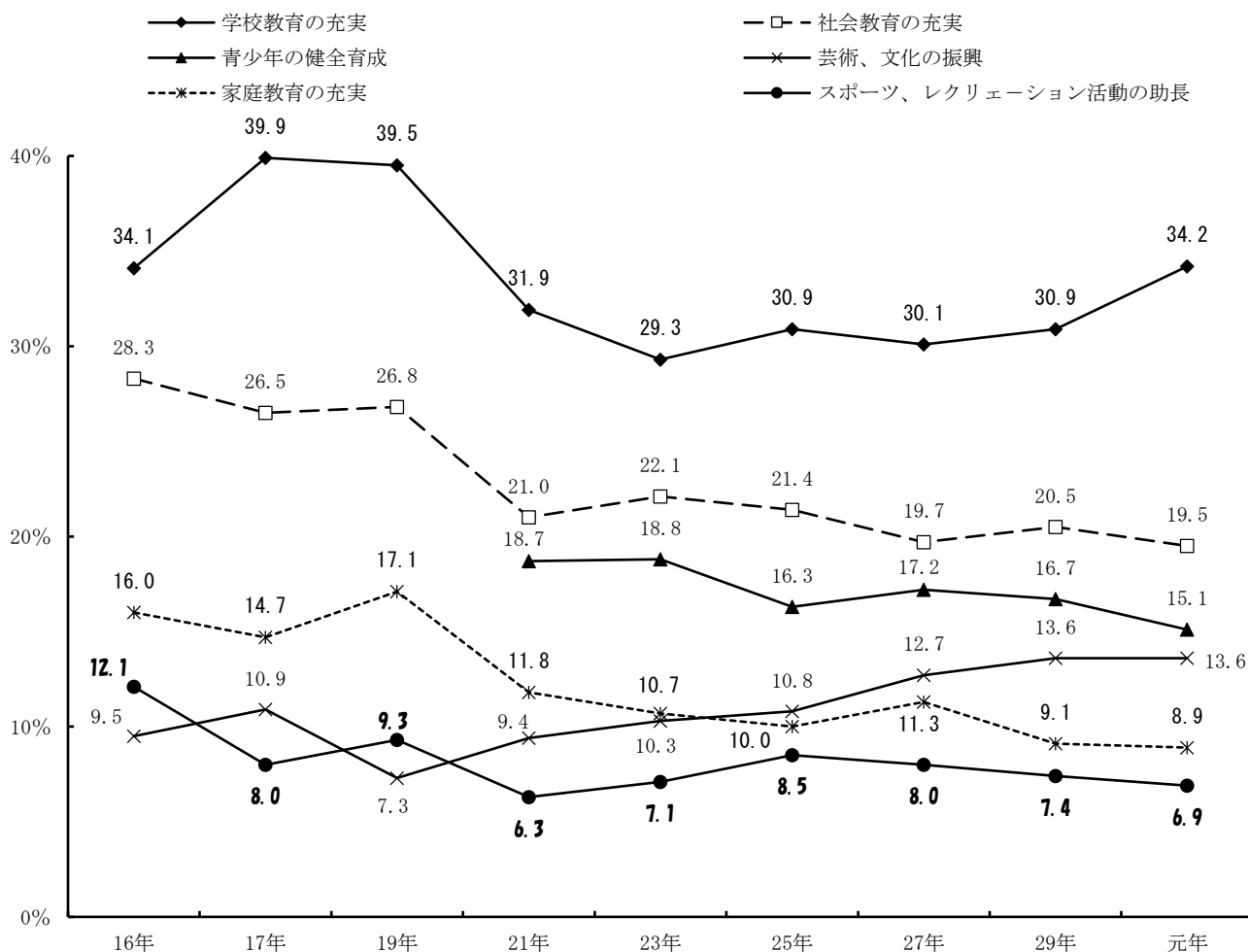
## 《教育面》

教育面で特に力を入れてほしいこととしては、「学校教育の充実」と答えた人の割合が、34.2%で最も多く、以下「社会教育の充実」(19.5%)、「青少年の健全育成」(15.1%)、「芸術、文化の振興」(13.6%)などの順となっている。



## 【経年変化】

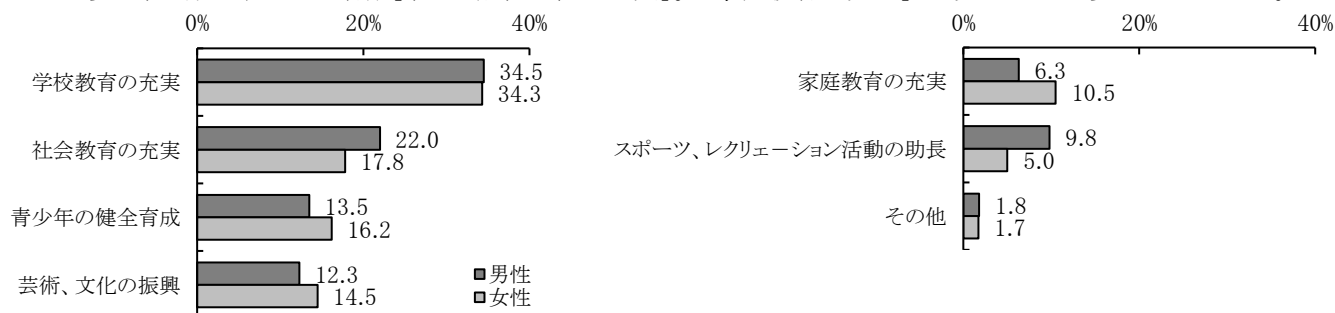
経年変化をみると、「学校教育の充実」と答えた人の割合は、前回調査から3.3ポイント増加している。また、「社会教育の充実」は、平成16年調査以降減少傾向にあり、前回調査より1.0ポイント減少している。



## 【性別】

性別にみると、男女共に「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多くなっている。

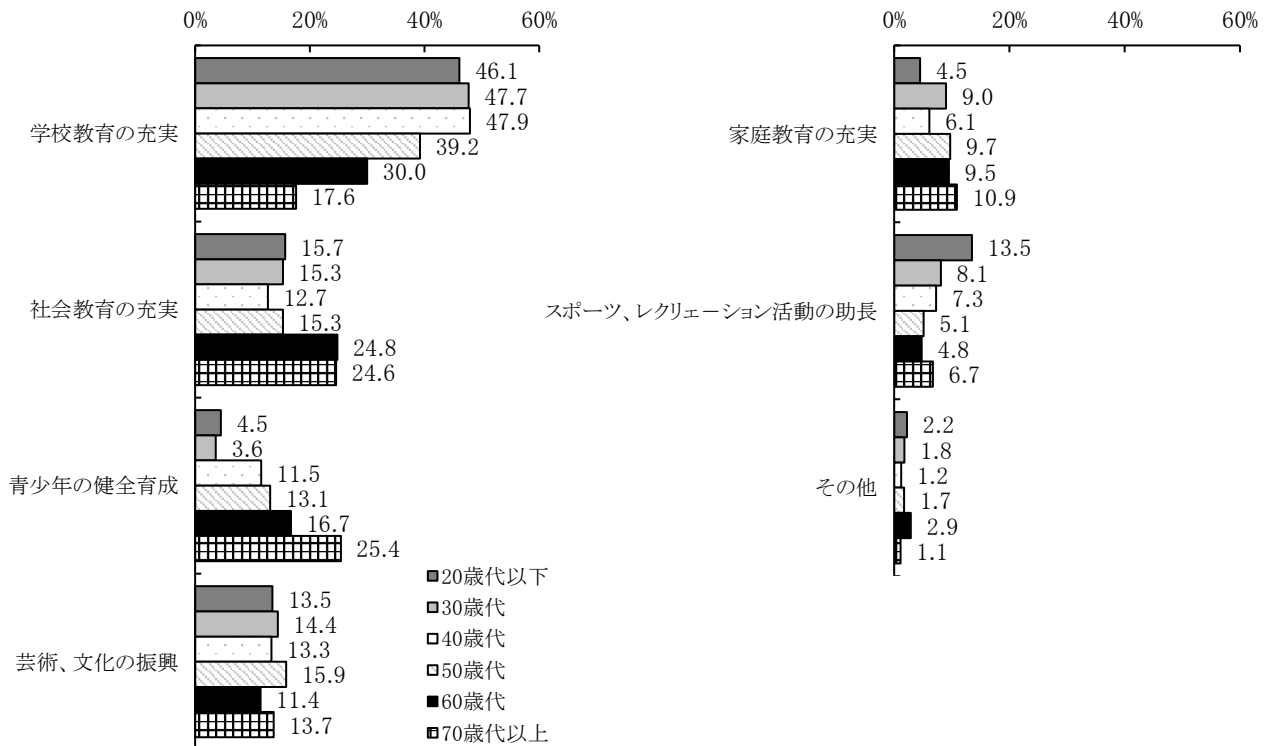
また、「社会教育の充実」及び「スポーツ、レクリエーション活動の助長」と答えた人の割合は、男性の方が多く、「青少年の健全育成」、「芸術、文化の振興」は女性の方が多くなっている。「家庭教育の充実」は女性の方が多くなっている。



【年齢別】

年齢別にみると、60歳代以下では「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多く、70歳代以上は「青少年の健全育成」が最も多くなっている。

また、「青少年の健全育成」は、おおむね年齢層が高くなるほど多くなっており、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」は、20歳代以下で他の年齢層と比較して多くなっている。



【生活圏域別】

生活圏域別にみると、全ての圏域で「学校教育の充実」と答えた人の割合が最も多くなっており、前回調査と比較して、宇和島圏域では7.4ポイント増加している。

また、「社会教育の充実」と答えた人の割合は、新居浜・西条圏域で少なく、「青少年の健全育成」は松山圏域で少なく、「芸術、文化の振興」は新居浜・西条圏域及び松山圏域で多く、「スポーツ、レクリエーション活動の助長」は新居浜・西条圏域で多くなっている。

